

再回答を要求

不知火海
汚濁防止委

新日窒の回答不満

不知火海水質汚濁防止対策委員会の竹崎正巳（幕北漁協長）田中加太郎（田浦町漁協長）岡氏らは三十日午後、水俣市の新日窒水俣工場にたいし「十七日の県漁民総決起大会の要求に対する工場側の回答には応じられない。百間港の排水も即時ストップを要求する。十一月二日午後五時までに再回答してほしい」との要望書を出した。

これに先立ち熊本県漁連の村上会長ら代表約十人は同日午前、県庁に寺本知事を訪ねて賛処を要望し

たが、知事は「事情を調べたうえで工場側とも話し合いたい」と答えた。漁民代表は「工場側の回答があっても要求が入られないものであれば入植と生活を守るためにたたかう」といっている。

工場排水は現在八幡地区には一、間六百ト、百間港へは三百トが流されている。

要望書の要旨はつぎのとおり。

十月十七日、県漁民総決起大会で決議要求した四項目のうち第一項の「工場は完全浄化設備を

つくるまで操業を中止せよ」との要求にたいする工場側の「操業中止の要求には応じられない。ただし八幡地区の排水は十一月末までになくするよう工事中である」との回答は受入れられない。また回答には百間港排水のストップは含まれておらず問題解決にならない。八幡地区と百間港の間排水をとめることが水俣港にたいする漁民の不安解消の方途である。そこで十

一月二日午後五時までに再回答